

ガラス選びのポイント

窓の性能のカギを握る大切なポイントのひとつが「ガラス」です。
ガラスの選び方次第で、窓の性能や機能が変わり、より快適な住まいづくりにつながります。

ポイント1: 断熱性能

窓からの熱の出入りを防ぎ、<冬の寒さ><夏の暑さ>を抑え、暖冷房費削減にもつながります。

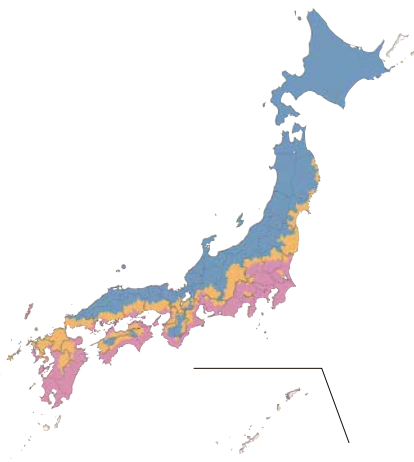
ガラス種類		Low-E複層ガラス クリア	Low-E複層ガラス グリーン(高遮熱仕様)	一般複層ガラス	単板ガラス
ガラス種類					
ガラス構成	室外側	FL3	Low-E3	FL3	FL3
	中空層(空気)	12	12	12	
	室内側	Low-E3	FL3	FL3	
断熱性能	熱貫流率 (W/m ² ·K)	高い ← 1.7	1.7	2.9	低い → 6.0

※熱貫流率の値が小さいほど、断熱性能が高くなります。 ※3-A12-3の性能値となります。 ※算出根拠はP.117を参照してください。

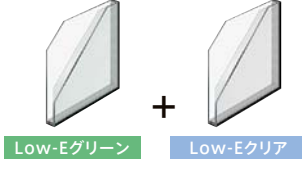
ポイント2: 地域や方角に合わせたガラス選び

お住まいの地域や窓の方角などにあわせてガラスを選べると、より快適に過ごすことができます。

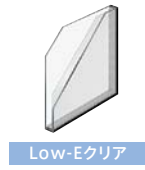
地域に合わせてガラスを選ぶ例



日射量が少なく寒い地域
日射の影響が少ないので断熱を優先し、Low-Eグリーンを活用。日差しが入る部屋にはLow-Eクリアも検討。



日射量が少なめで比較的暖かい地域
冬、暖かい日差しを採り込むために、Low-Eクリアの活用がおすすめ。

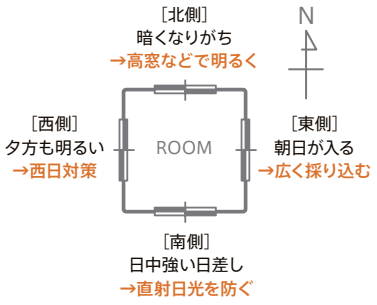


日射量が多く暖かい地域
夏の暑さ対策を優先し、Low-Eグリーの活用がおすすめ。



※参考: 建築環境・省エネルギー機構「住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)平成21年7月発行」より

部屋の方角に合わせてガラスを選ぶ例



北側・東側・西側
断熱性能を高め、しっかり寒さ&結露対策



※冬の暖かい日差しを積極的に採り込みたい場合は、東西面をLow-Eクリア+シェードにする効果的

南側
冬は暖かい日差しを採り込み、夏は「シェード」や「ひさし」で日射をカット



シェード:スタイルシェード ひさし:スリムアート